

札幌市芸術文化基本構想(概要)

構想策定の趣旨

私たちを取り巻く社会環境は、国際化や情報化、高齢化などの進展により大きく変化するとともに、市民の生活意識や価値観が多様化し、暮らしの中に潤いやゆとりといった心の豊かさを求めるようになってきている。

その結果、市民の芸術文化に対する関心や期待も高まり、市民の多様なニーズに対応した芸術文化振興のシステムづくりが求められている。

この構想は、芸術文化の担い手は一人ひとりの市民であることをふまえ、市民・産・学・官が連携して芸術文化の振興を推進するための、長期的な視点に立った本市における芸術文化振興の指針を示したものである。

今後は、本構想を第4次長期総合計画や札幌市生涯学習推進構想など本市の基本計画との整合性を図りながら、芸術文化振興施策の推進に努める。

構想の目標

芸術文化は、広く市民のものであると同時に、まちづくり全般にわたって重要な役割を果たすという認識のもとに、魅力ある国際文化都市実現に向け、次の3点を目指すものとする。

1 札幌の創造性を高める

札幌の芸術文化の創造性を高めるため、市民の主体的な活動を広げるネットワークづくりなど、市民やアーティストの交流・情報交換の場を整備し、さらに創造や鑑賞機会などの環境を充実し、芸術性の高い文化的環境を醸成していく。

2 未来の担い手をはぐくむ

芸術文化振興のためには、将来の芸術文化を担う青少年の創造性と豊かな感性をはぐくむための早期教育と芸術文化の環境づくりが重要である。

そのために、札幌芸術の森や札幌コンサートホールなどの文化施設と学校とが連携を図りながら、さまざまな文化施設の有する機能を活用して、多様な芸術文化を体験させるための方策づくり、さらに、学校や地域、家庭における芸術文化鑑賞機会や創造性を養う学習機会などの充実を図る施策を展開していく。

3 広く世界と結ぶ

これからの札幌が、より個性的で国際性あふれる芸術文化都市として発展していくため、先人が培った芸術文化を継承・発展させ、世界の芸術文化を広く受容しながら、札幌独自の芸術文化を創出し、世界に発信していく。

芸術文化振興の基本的視点

芸術文化の振興を図るにあたって、次の4点を基本的視点として取り組む。

- 1 札幌の特性を生かした豊かな芸術環境づくり
- 2 市民の主体的で自立した活動を重視する文化行政
- 3 新しい文化を創造し活気あるまちづくり
- 4 道内外との連携・協力の推進

芸術文化振興施策の展開

1 芸術文化活動を担う人材の育成

人材の育成 青少年の芸術文化教育の推進

2 芸術文化交流の促進

芸術文化交流の推進 情報の提供 拠点整備

3 芸術文化活動の振興

芸術文化活動の推進 地域文化の振興 芸術文化の鑑賞機会の充実
文化イベントとコンベンションの連携 企業メセナ、NPO(非営利組織)活動の促進

4 文化の伝承・発展

伝統文化の継承 文化遺産の保存と活用 札幌の芸術遺産の継承

5 芸術文化環境の充実

文化施設の整備充実 都市環境の整備 芸術文化を生かした産業の振興

構想の推進にあたって

構想の推進にあたっては、芸術文化の担い手は市民であることをふまえ、時代の要請や多様な市民ニーズに対し的確に対応するため、市民・産・学・官の連携を密に図り、文化事業や文化行政の一元化を進め、柔軟で効率的な体制を整備し、計画的かつ段階的に施策を推進していく。